

# 教育のあり方について



上原 正一議員

教育長に就任し半年が  
経ち、大崎にも慣れてき  
たと思うが教育長の基本  
方針は。

## 「学社融合」で 教育推進を

教育長

本町の基本理念である  
「ひと・もの・自然・調  
和の奏でる躍動のまち」  
作りを進めるため、大崎  
のよさを生かした地域の  
教育力と学校本来の教育  
技術で「学社融合」教育  
の推進に努めていきたい。

※ことばの意味

「学社融合」とは、学校教育と社会教育がそれぞれの役割分担を  
前提とし、学習の場や活動など両者の要素を部分的に重ね合わせ  
ながら一体となって子供たちの教育に取り組んでいくことです。

## 学校が心配

上原議員

三校の中学校が周期的  
に荒れるが、子供を育て  
るためには七つほめて三  
つ叱る教育の方が良いの  
ではないか。

## 叱ると怒るは違う

教育長

学校は荒れさせてはい  
けない。子供が悪いとき  
には「叱る」事も必要だ  
が怒るのは良くない。子  
育ては地域の協力も必要  
だしほめる事も重要だと  
思う。

## 「子ほめ条例」の制定は

上原議員

目立たない子供が影で

努力しているのを表に出  
してほめてあげたいのだ  
が「子ほめ条例」制定は  
できないか。

## 検討する機会を 作りたい

教育長

子供達をほめて育てよ  
うと言う条例が少子化の  
進む町等で広がっている。  
志布志町等全国で14市町  
村にあるが「ほめ方」は、  
難しく課題も多い。「たか  
が子ほめ」「されど子ほ  
め」と奥が深い。今後学  
校現場と検討する機会を  
つくりたい。

## 「グランステラ大 崎」の入居状況は

上原議員

今後、少子高齢化を考  
える時定住化の促進は不  
可欠のもの、現在進めて  
いる「グランステラ大崎」

の入居状況はどうなっ  
ているか。

## 10戸数が町外から

町長

10月末に完成で11月入  
居が始まる。9月8日現  
在20戸が確約、2戸がま  
もなく確約、主に20歳代・  
30歳代が10戸、50歳代が  
7戸で、これを町内外で  
見ると町内居住者の購入  
が12戸、町外居住者が10  
戸で進捗率70%である。

## 景観を考えて

上原議員

残地の60アールの利用  
計画はどうするのか。ま  
た、パチンコ店側には植  
樹をすべきと思うがどう  
か。

## 今後考えていく

町長

既に建物の中にモデル  
ルームも出来上がってい  
て植樹の計画もあり整っ

てくると販売も促進する  
と思う。残地については  
第二段で考えていく。

## 町有地活性化対策は

上原議員

隣接町の住宅政策を聞  
いてきたが、野方の旧家  
畜検査所跡地や中沖の旧  
家畜検査所跡地等の遊ん

でいる町有地を有効利用  
したらどうか。

## 調査して進めたい

町長

次の段階では町有地の  
有効活用はどうしてもや  
らなければならぬ。ど  
んな方法が良いか調査を  
して進めたい。



▲定期借地権付分譲マンション「グランステラ大崎」